

# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

平成29年5月29日（月）～平成29年6月4日（日）〔平成29年第22週〕の感染症発生状況

第22週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

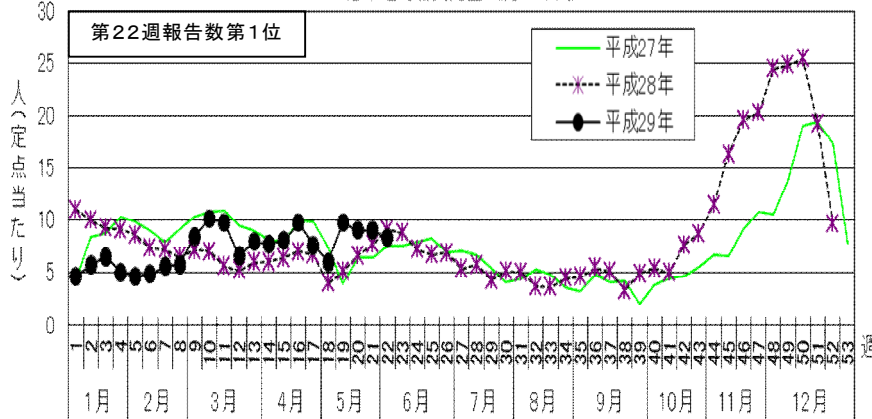
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.25人と前週（8.94人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.53人と前週（4.06人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

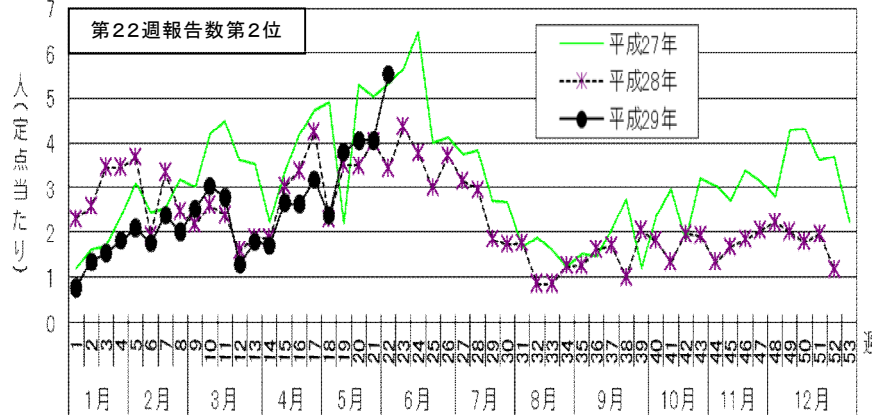
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.56人と前週（2.11人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 増加しています！！～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～

現在、全国的にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数が増加しています。川崎市においても、3月下旬以降患者報告数が増加しており、第22週（平成29年5月29日～6月4日）の定点当たり患者報告数は5.53人と、前週の4.06人から急増しています。特にお子さんで発熱や咽頭痛などの症状がある場合は、早めに医療機関で診断を受けましょう。

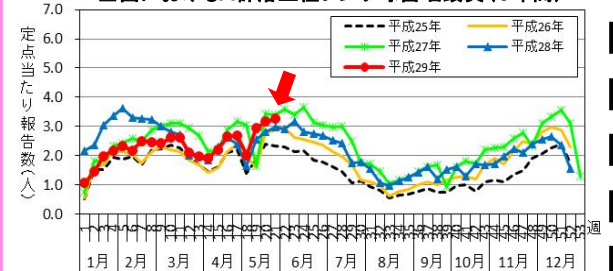
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の症状

- 突然の発熱（38.5℃以上）
  - 全身倦怠感
  - 咽頭痛
  - 莓舌（イチゴのように赤くポツポツした状態）
  - 体や手足に小さくて紅い点状発疹
- ※合併症として肺炎、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などを起こすことがあります。



基本的な治療は、抗菌薬の投与です。処方された薬は、主治医の指示どおり服用し、最後までしっかりと飲みきりましょう。

全国におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎(5年間)



川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(5年間)

